

第1章 社会科授業づくりの留意点とプロセス

第1節 授業づくりに求められる「志」と「技」

私たちが陥りがちなこと

子どもたちは「志」に気づかないので、「技」を磨くだけで十分では？

しかし！

「技」の中に潜むモノこそ「志」である。

→「技」の向上に「志」は不可欠、無視できるものではない。

・授業づくりで重要な「志」と「技」

「志」：教師がいただく教科指導上の信念

※社会科で育てたい子ども像、授業を規定している目標観

「技」：上の「志」を実現するために教師が授業で取り入れている方法

※教師の口癖、教室内の掲示物、日々の反復指導、授業プリントなど

・第1章の中心にある2つの問い

問1) 日常的な授業づくりで「志」がいかに関与するの質を左右するのか。

問2) 志の実現に求められる「技」とは何か。

第2節 教科書を教える授業

～目標を異にする授業づくりの4類型～

教科書には限られた内容しか載っていない。教科書の意味を教えるには、教科書に見落とされた「何か」を補う必要がある。

① 第1類型メディアを補い、内容を重点化・焦点化して教える

特徴：本文記述の中からエッセンスを絞り込み解説する

効果：教科書内容に対する子どもの知識の定着と意味の理解の深化

方法：テレビ番組、googleのストリートビューなど間接体験を促す教材の提示

求められる「技」：知識にリアリティーを持たせ伝えることができるプレゼンテーション力とICTの技術

教科書は…基礎的・基本的知識の源泉

② 第2類型選択可能性を補い、内容を論争化・複線化して教える

特徴：本文記述を丁寧に読み込み、人々の議論と選択を再構築させる

効果：議論に参加できる能力の育成

方法：本文外の主張や別の選択肢の提示

求められる「技」：子どもの見解を引き出し、わかりやすく論点を整理する力

教科書は…人々の選択の記録集

③ 第3類型論理的飛躍を補い、内容を構造化・概念化して教える

特徴：本文記述の流れを追いかけながら、論理的に飛躍している箇所を説明する

効果：事象の因果に関心を持つ態度の育成、社会のしくみを究明しようとする知性と概念

方法：飛躍している箇所とそこから生まれる疑問点の提示

求められる「技」：子どもの疑問から物事の本質に迫り、概念を構築させる探究過程のプランニング力

教科書は…探究のネタの宝庫

④ 第4類型表象的排除を補い、内容を言説化・相対化して教える

特徴：本文記述全体を対象として、記述の底に貫かれた立場や思想性の読み取り

効果：言説を鵜呑みにせず相対化するスキルと態度の育成

方法：教科書とは異なる視点の提示、教科書が伝えたいメッセージの吟味

求められる「技」：教室内の権力作用に気づく力、子どもの自由な議論を生み出すための雰囲気づくり

教科書は…政治的に権威づけられて発信される言説

<教師は何をすればよいのだろう？>

大事なのは「志」を立てる→「技」を磨く→「志」の再構成の循環

自らの技に溺れることなく、自分を省みて「志」を変容させことこそ社会科授業づくりの留意点である。